

日曜版連載が本に

本紙で2011年7月から1年間にわたって連載した「グラウンドの詩(うた)」が単行本になりました。野球を通して成長する少年の心の動きを細やかに描き、多くのファンを生み出しました。

舞台は中国地方の小さな町にある中学校。心に傷を負い、都会から転校してきた天才ピッチャー透哉、甲子園を夢見るキャッチャー

瑞希、幼なじみの良治。3人が所属する八頭森東中学校野球部は、地方大会を勝ち抜き、全国大会出場の切符を手に入れます。

しかし、野球に夢中な中学生も、過疎や不況といった社会が抱える問題と無縁ではられません。

グラウンドの詩

あさのあつこ



あさのあつこ著

悩み、傷つきながらも野球を信じ、夢を追い求める球児と、それを支える周囲のおとなたちの心打つ物語です。角川書店・1300円。

本作は「グラウンドの空」(08年7月～09年6月連載)の続編です。こちらは角川文庫(552円)が刊行されました。

グラウンドの詩

実践！ 田舎力

小さくても経済が回る5つの方法

金丸弘美著

農業の衰退や高齢化に悩む地方で、どうしたら町おこしを軌道に乗せられるのか？ 食環境ジャーナリストとして100以上の地域を取材してきた著者は、「まずは小さくてもいいから、自前の経

済活動を創出すること」といいます。

愛媛県今治市のJAおちいまぼりの特産品の直売所、開発デベロッパ丸投げでなく住民主導で商店街を再生させた高松市丸亀などの実例を紹介。創意工夫で新たな道を開いた経験を通じて、町おこしの教訓を明らかにします。

(NHK出版新書 780円)

洋楽

山口智男の3枚

今月はリズム&ブルースと呼ばれる黒人音楽の影響を、それぞれのやり方で表現している3組の新作を紹介したい。

ブラック・ジョー・ルイスはジミ・ヘンドリックスとイギー・ポップの二役を一人でこなす若き天才。ファンキーなロックンロールは相変わらずながら、前2作を上回るワイルドさで迫る新作は今後、彼の代表作として記憶されるはず。メンバー自ら西部開拓時代のならず者に扮(ふん)したアートワークもかっこいい。